

(社)日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会
第1回 廃止措置分科会 (R3SC) 議事録

1. 日時 2004年11月15日(月) 10:30~12:00

2. 場所 日本原子力発電(株) 第2会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 岡本〈主査〉, 木原〈副〉, 加藤〈幹事〉, 川妻, 池田, 伊藤, 清田, 工藤, 小林, 小山, 戸塚, 中澤, 西堀, 西村, 東, 見上, 山内, 渡辺 (18名)

(代理出席委員) 松本(丹沢代理) (1名)

(欠席委員) 長崎, 山中 (2名)

(常時参加者) 斉木, 佐々木, 三本木, 塚根, 森田 (5名)

(事務局) 太田

4. 配付資料

R3SC1-1 日本原子力学会標準委員会

R3SC1-2 標準委員会規約

R3SC1-3 廃止措置分科会の設置について〔研究炉専門部会資料 RTC12-4-5〕

R3SC1-4 廃止措置に関わる案件の要望について〔標準委員会資料 SC19-15〕

「原子力施設の運転終了以降の安全規制制度のあり方について」の検討の方向性について(案)〔研究炉専門部会資料 RTC12-4-1〕

原子力安全・保安院における検討状況について〔研究炉専門部会資料 RTC12-4-2〕

R3SC1-7 原子力施設の廃止措置規制のあり方について(案)

原子力施設の解体、廃止措置に対する安全規制について(検討状況)〔研究炉専門部会資料 RTC12-4-3〕

R3SC1-9 標準化の進め方について(案)

5. 議事

議事に先立ち、委員21名中代理出席委員を含め19名が出席しており、定足数を満足していることが報告された。

1) 分科会委員の紹介

出席委員がそれぞれ自己紹介をおこなった。

2) 標準活動について

事務局より標準活動の経緯と状況、規約関連の概要説明を行った(R3SC1-1, 1-2)。

3) 役員選出

a) 事務局からの主査等役員選任方法の説明の後、出席委員全員による無記名投票が行われ、以下の結果となり、岡本委員が主査に選出された。

投票結果; 岡本 委員 得票 18票

木原 委員 // 1票

b) 岡本主査より、木原委員が副主査に指名された。

c) 主査、副主査の協議により、加藤委員が幹事に指名された。

また、川妻委員を幹事補佐とすることとした。

4) 人事について

事務局より、斉木秀男(サイクル機構), 佐々木文昭(原子力安全・保安院), 三本木満(東京電力), 塚根健一(サイクル機構), 森田徹治(日本原子力発電)の各氏から常時参加者登録の申し出がある旨の報告があり、全員を常時参加者とすることを承認した。

5) 廃止措置分科会の設置について(報告)

山内委員より、R3SC1-3,4,5,6,7,8により、本分科会の設置に至った経緯、標準委員会、研究炉専門部会での審議状況の紹介、行政庁での検討状況の説明が行われた。

佐々木常時参加者より、原子力安全・保安院での検討状況の紹介があり、廃止措置の進捗に応じた合理的規制を行うために、審査を行うためのツールとして民間規格を使用したい。改正法令を来年春に国会へかけ、来年秋から再来年春頃に施行となるスケジュールを考えている。民間規格の発行は、法令の施行時期に間に合わせていただきたい。との紹介があった。

6) 標準化の進め方について

山内委員より、R3SC1-9により説明及び、規格の案は、実用炉を先行させて作成し、研究炉、サイクル施設の観点より、適宜修正、見直しを図っていくこととなるとの説明が行われた。

6. 次回の予定

第2回分科会は平成16年12月21日(火)、時間は13時30分より17時

第3回分科会は平成17年1月20日(木)、時間は13時30分より17時の開催とすることとした。

以上